



2019年5月7日

各 位

インフラファンド発行者名  
エネクス・インフラ投資法人  
代表者名 執行役員 山本 隆行  
(コード番号 9286)

管 理 会 社 名  
エネクス・アセットマネジメント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山本 隆行  
問合せ先 取締役兼財務経理部長 大村 達実  
TEL: 03-4233-8330

九州電力株式会社管内における出力制御に伴う  
2019年11月期（第2期）の運用状況に及ぼす影響に関するお知らせ

九州電力株式会社管内において2019年4月28日および5月4日に再生可能エネルギー発電設備を対象とした出力制御が実施されました。当該出力制御がエネクス・インフラ投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の運用状況に及ぼす影響について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 出力制御の内容

出力制御の 対象発電所	稼働停止期間	今期の本投資法人の ポートフォリオ全体の基本賃料に対する 当該出力制御による逸失賃料の比率	
		今回出力制御	今期の出力制御累計
JEN 玖珠太陽光発電所	2019年4月28日 7時59分～16時00分	0.0114%（注1）	0.1057%（注1）
同上	2019年5月4日 7時59分～16時00分	0.0112%（注1）	0.1169%（注1）

2. 2019年11月期の運用状況の予想への影響について

本投資法人は、運用資産をいずれも発電事業者 SPC（JEN 玖珠太陽光発電所の発電事業者 SPC は玖珠太陽光発電合同会社です。）に賃貸し、発電事業者 SPC から基本賃料と実績連動賃料を收受する賃貸スキームを採用しています。

本投資法人の運用資産が出力制御の対象になり、発電事業者 SPC が出力制御により稼働を停止したことによって本来得られる売電収入額が電力会社から收受できない場合でも、運用資産毎に年間想定売電収入の10%相当額を賃料等積立口座に積み立てて不足額を補填することとしているため、今回の出力制御においては、本投資法人が発電事業者 SPC から收受する基本賃料は減少いたしません。なお、2019年11月期の業績予想においては当該発電所の実績連動賃料は見込んでおりません。

そのため、2019年2月13日付「2019年11月期及び2020年11月期の運用状況の予想に関するお知らせ」にて公表している本投資法人の2019年11月期の運用状況の予想への影響はありません。

（注1） 小数点第5位を四捨五入した数値を記載しています。

以上

\* 本投資法人のホームページアドレス：<https://enexinfra.com/>